

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第5区分
【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2004-44037(P2004-44037A)
【公開日】平成16年2月12日(2004.2.12)
【年通号数】公開・登録公報2004-006
【出願番号】特願2002-205837(P2002-205837)
【国際特許分類第7版】

D 0 2 J 1/00

【F I】

D 0 2 J 1/00 X

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月13日(2005.7.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数本の小トウが並列状態に結合されてなる炭素繊維前駆体系条であって、隣接する小トウ同士が、その長さ方向に所定の間隔をあけて繊維交絡されてなることを特徴とする炭素繊維前駆体系条。

【請求項2】

複数本の小トウが並列状態で結合された炭素繊維前駆体系条の製造方法であって、
複数本の小トウを、各小トウが接触する状態で並列させて走行させること、
この並列走行する小トウの一面にエアを噴出させながら、トウ走行面を横断する方向に
エア噴出ノズルをトラバースさせること、
を含んでなることを特徴とする炭素繊維前駆体系条の製造方法。

【請求項3】

複数本の小トウが並列状態で結合された炭素繊維前駆体系条の製造装置であって、
複数本の小トウが並走する並走面と、
その並走面に向けて同並走面を横断する方向にトラバースするエア噴出ノズルと、
を備えてなることを特徴とする炭素繊維前駆体系条の製造装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段及び作用効果】

かかる目的は、複数本の小トウが並列状態に結合されてなる炭素繊維前駆体系条であって、隣接する小トウ同士が、その長さ方向に所定の間隔をあけて繊維交絡されてなることを特徴とする炭素繊維前駆体系条により達成される。